

祝 世界遺産登録



事務所便り

特定社会保険労務士・行政書士

重村行政労務管理事務所

ご連絡先：〒235-0021

：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102

電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466

E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp

平成 25 年 7 月号

●富士山の世界遺産登録を祝う。

富士山の世界遺産登録で日本全体が大いに盛り上がっている。中でも三保の松原が追加登録されたことは、日本の苦手とされるロビー活動の成果として大いに評価される場所である。しかし、登録と同時に環境保全の責任も課せられている。その財源として入山料の検討も行われている。実は明治時代まで富士山登山は「有料」だった。富士山の有料化の歴史は思いのほか古い。奈良時代の山岳修行者・呪術者であり、修験道の始祖・役小角(えんのおづぬ)が始めた修行としての富士登山(富士講)だが、これが盛んになったと言われている室町時代の後半からすでに、登山は有料だったと記録にある。では、いくらぐらいかという、登山者・1人につき244文の山役銭＝通行料を徴収していたという。

久しぶりの明るい話題、環境保全を万全にして世界の遺産を大切にしたいものです。今日、7月1日は富士山の山開きです。

●世界サイバー戦争の実態

6月7日、8日と行われた米中首脳会談で米国は中国の軍官民による米国に対するサイバー攻撃の中止を強く求めた。しかし、9日には元CIAの職員が米国の広範な盗聴事件を暴露し、米大統領の面目は丸つぶれとなった。

アメリカのインテリジェンス・コミュニティは**国家情報長官**を頂点とする中央集権型の体制であり、1981年に大統領令によって設置された。6省15機関に跨り、常時10万人規模の人員を有する。

その主要な組織は次のとおり

- **中央情報局 (CIA)**
- **国防総省**
 - **国防情報局 (DIA)**
 - **国家偵察局 (NRO)**
 - **国家安全保障局 (NSA)**
 - **国家地球空間情報局 (NGA)**
 - **陸軍情報部 (G2)**
 - **海軍情報部 (ONI)**
 - **空軍情報・監視・偵察局 (AIA)**
 - **海兵隊情報部 (MCIA)**

● **司法省**

- **連邦捜査局 (FBI)**

- **連邦捜査局国家保安部 (NSS)**

● **国土安全保障省 (DHS)**

- **沿岸警備隊情報部 (CGI)**
- **情報分析・インフラ保護部**

● **エネルギー省**

- **不拡散・国家安全保障部**

● **国務省**

- **情報調査局 (INR)**

● **財務省**

- **情報支援局**

※**国家安全保障法**に定義されている情報機関を記載。(赤字は主要な情報機関)

今回話題になったNSAはワシントンD.C.の北、メリーランド州にあるフォートミード基地に本部を置き、世界各国に通信情報基地を有する通信情報を担任する組織である。冷戦時代はその存在自体が秘匿されており、電波・通信情報(シグニト＝シグナルインテリジェンス)の収集解析が主体であったが、インターネットが主体となったIT社会では対象もメールを主体とした電子情報にシフトしている。

● **日本もサイバー攻撃の対象に**

アメリカの情報機関が極秘に大量の個人情報収集していた問題で、イギリスの新聞は30日、アメリカにある日本大使館も盗聴などの対象とされていたことが明らかになったと伝えた。

イギリスの新聞、ガーディアンが30日伝えたところによると新たに明らかになった文書はアメリカのNSA＝国家安全保障局が2010年に作成した極秘文書の一部とされている。

文書には首都ワシントンやニューヨークにある日本を含む38の外国大使館や代表部が盗聴などの対象として記されているという。

対象国の中には日本のほかにもフランス、韓国、インドなどが含まれていたという。情報の世界においてはすべての情報が要求され、敵のみならず味方の情報も必要となる。過去においても日米自動車交渉、日米農業交渉等における、米国による日本大使館への盗聴工作がささやかれていた。この

ようなことが国際政治の現実であることを認識しなければならない。

●企業の国際化と賃金

ユニクロ・柳井会長の「世界同一賃金」導入発言に注目が集まっている。特にどこの国・都市を基準にするかは大きな問題である。

日本の賃金水準は世界的に見てどのような位置づけとなるのだろうか。UBS の『Prices and Earnings』のレポートによると、2012年の世界主要72都市の平均年収(円建て ※2012年6月の為替レート)1位はスイス・チューリッヒ(533万円)。6位に米・ニューヨーク(407万円)で、東京は376万円

で8位。やはり日本の賃金水準はだいぶ高いようだ。ただし、最近の円安を計算に入れると日本の賃金水準は少し低くなるものと思われる。

世界同一賃金を支払うといっても現実には各都市の経済状況、物価水準、平均給与、為替の変動等考慮しなければならず、実現にはいくつものハードルが有りそうだ。下表は2012年の主要都市の年収ランキングである。

世界の主要都市年収ランキング

(UBSのデータをもとに編集部が計算)

1	スイス・チューリッヒ	533万円
2	スイス・ジュネーヴ	503万円
3	デンマーク・コペンハーゲン	501万円
4	ノルウェー・オスロ	485万円
5	ルクセンブルク	429万円
6	米・ニューヨーク	407万円
7	オーストラリア・シドニー	383万円
8	日本・東京	376万円

9位は独ミュンヘン(372万円)、10位は独フランクフルト(359万円)。円建てで計算すると東京は8位になるが、円の貨幣価値や物価等を考え合わせると、実質的な価値はもう少し高くなる。年収は1ドル80円で計算

●10 万年後の人類

秦の始皇帝は不老不死の秘法を求めて中国中を行幸したと伝えられている。しかしながら、紀元前210年に49歳で死去したといわれている。現在平均寿命は80歳を超えているが、100歳を超えて生きる人は少ない。しかし、生物は将来にわたって生きるため、子孫を残している。その結果1万年あるいは10万年先においても自分のDNAを送り届けることになる。さて、10万年後に生存する我々の子孫はどのようになっているのだろうか。

人類の衝撃的な未来を描いた画像が、現在海外で大きな話題になっている。多くの人をあっと言わ

せるその驚愕画像とは、ズバリ「人類の10万年後の顔」を予想したものである。

この画像は、アーティストでもあり研究者でもあるニコライ・ラムさんと、ワシントン大学でコンピュータ遺伝子学を研究するアラン・クワン博士の2人の協力のもと作られた。彼らは今から2万年後、6万年後、10万年後の人類の顔を予想しているのだが、どれもかなり強烈な仕上がりになっている！

2人は、祖先と比べて3倍大きい脳を持つ現代人は、さらに脳を大きくさせていくと予想。それに伴い、人類の頭も大きくなっていくようだ。この他にも以下のような顔の変化を彼らは思い描いている。

【2人の科学者が予想する未来】

・人類は、地球と比べて太陽からより離れた薄暗い星で生活するようになるため、**目がとてつもなく大きくなる。**

・人類は地球のオゾン層の外で生活するようになり、より有害な紫外線を浴びるようになる。その結果、紫外線からのダメージを防ぐため、**肌の色素が強くなる。**

・人類は重力が弱い環境、もしくは無重力の環境で生活するようになる。その結果、弱い重力による方向感覚の狂いが起きないように、**まぶたが分厚くなり、眉弓(びきゅう / 眉毛のところにある弓状の隆起)がよりくっきりする。**

・惑星外での呼吸をより円滑なものにするため、**鼻の穴が大きくなる。**

・頭が大きくなることで生じる熱の放出を抑えるため、**髪の毛の密度が高くなる。**

この他にも未来の人類は、遺伝子操作によって自分自身の顔の特徴や、子どもの顔の特徴を選べるようになっていると2人は予想している。

皆さんはどのようにお考えですか。



10 万年後の人類？

●労働保険・社会保険の更新

労働保険(労災保険、雇用保険)の年度更新、社会保険(健康保険、厚生年金保険)の算定基礎届の期限が7月10日(水)までになっています。